

平成29年度 事業報告書

大慈あい小規模保育園

1. 《ヴィジョン》

- ①子ども・保護者との信頼関係を築く
- ②誰からも愛される大慈あい小規模保育園
- ③保育者の人間力、専門力の向上
- ④大慈ほまれ幼保連携型認定こども園との密な連携

2. 《基本方針》

- ①子ども・保護者一人一人をよく把握し、寄り添った保育を行う
- ②職員一人一人が自己研鑽を行い、資質向上に努める

3. 《中長期目標》

- ①保育理念に基づいた保育を職員で共通理解し、実施する
- ②子ども・保護者に寄り添い、共に子育てをする
- ③キャリアパスを基に研修の充実を図る
- ④法人内幼保連携型認定こども園の連携を図り独自性を出す

4. 《平成29年度計画》

- ①子ども・保護者一人一人をよく把握し、寄り添って保育を行う
→保護者に寄り添い、子どもとスキンシップをよく取り安心して過ごせるようにした。保護者とコミュニケーションをよく取り、安心して預けられるように関係づくりに努めた。
- ②保育理念をよく理解し、丁寧に保育を行う
→一人一人の気持ちを受け止め、丁寧な保育に努めた。
- ③保護者や地域の方々とのより良い信頼関係が保てるよう積極的に関わる
→職員紹介ニュースを発行し、職員と保護者の関係が円滑に築けるようにした。
→本園ホームページの更新を行い、保育園をPRし、広く知っていただくように努めた。
→園だより等を配布するとともに、積極的に働きかけ、関係を深めていく。
- ④職場内、職場外研修を行い、全職員で共通理解をする
→職員の資質向上のため職員会議毎に伝達講習を行った。
→大慈一日研修を行う一姉妹園合同研修 午前中は「気になる子どもの対応」午後から早坂氏の講演と佐々江 辰弥氏のコンサート。

5. 《行事計画》

月	行事	月	行事
4月	入園式	11月	個人懇談
6月	個人懇談	12月	クリスマス会
7月	七夕まつり	1月	おもちつき
9月	運動会	2月	豆まき
10月	個人懇談・遠足ごっこ	3月	お別れ会・お別れ遠足・卒園式

月間行事

- ・お誕生日会（月1回）大慈ほまれ幼保連携型認定こども園にて
- ・ECC英語あそび
- ・防災訓練

その他

- ・事故対応訓練（SIDS・誤飲・アレルギー対応）
- ・消火器、火災報知機の点検を年2回行う

6. <<保健衛生計画>>

項目	頻度等
園児・職員定期内科健康診断	園児 春秋年2回 職員 春年1回
園児歯科健診	6月・年1回
園児耳鼻科健診	6月・年1回
園児身体測定	月1回
園児検尿	兵庫県予防医学協会により年1回
保育士全員検便	(株)有研により月1回以上

7. <<平成29年度在籍児一覧表>>

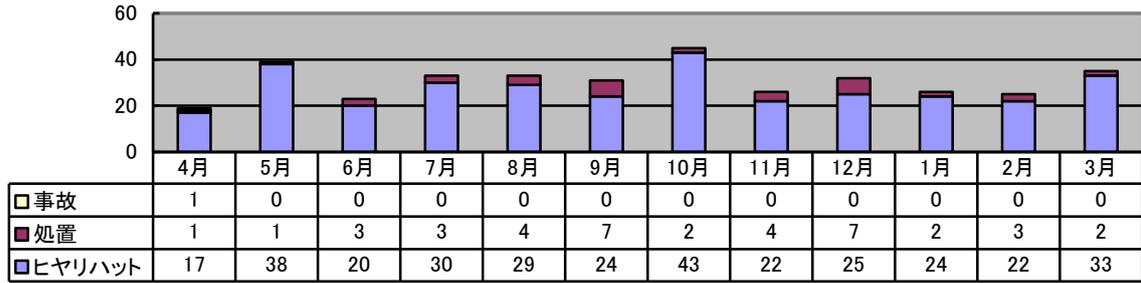
	0歳児	1歳児	2歳児	合計	充足率
4月	3	9	4	16	88%
5月	3	10	4	17	94%
6月	3	10	4	17	94%
7月	3	10	4	17	94%
8月	3	10	4	17	94%
9月	3	10	4	17	94%
10月	3	10	4	17	94%
11月	3	10	4	17	94%
12月	3	10	4	17	94%
1月	3	10	4	17	94%
2月	3	10	4	17	94%
3月	3	10	4	17	94%
合計	36	119	48	203	94%

8. <<リスクマネジメント報告>>

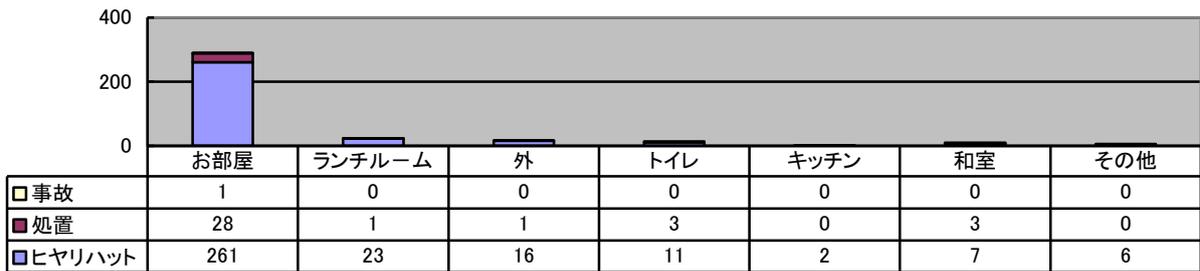
※医師の診察を受けた怪我を事故と定義する。

平成29年度				
報告件数	合計件数	事故	ドキドキ	処置
	367件	1件	327件	39件

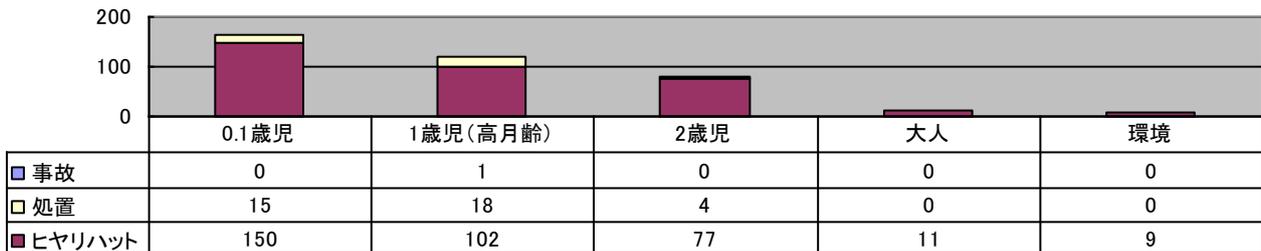
①月別発生件



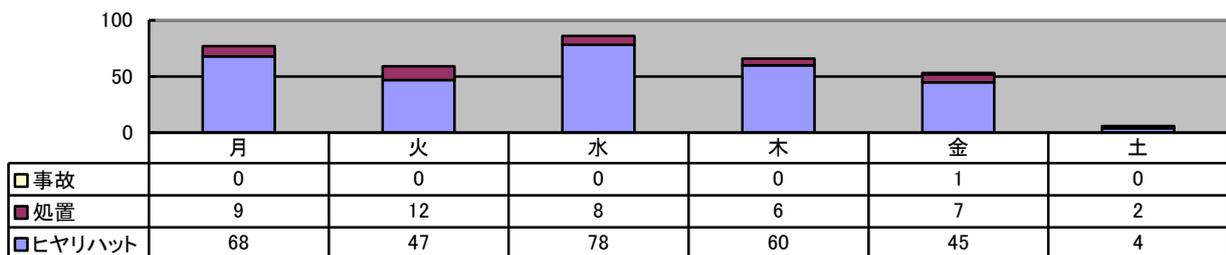
②場所別件数



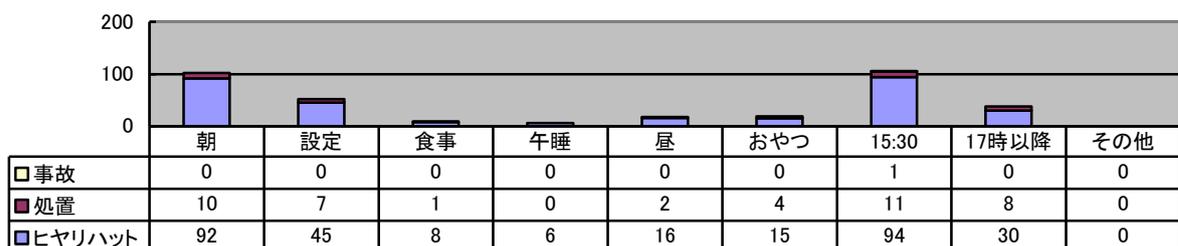
③クラス別発生件数



④曜日別発生件数



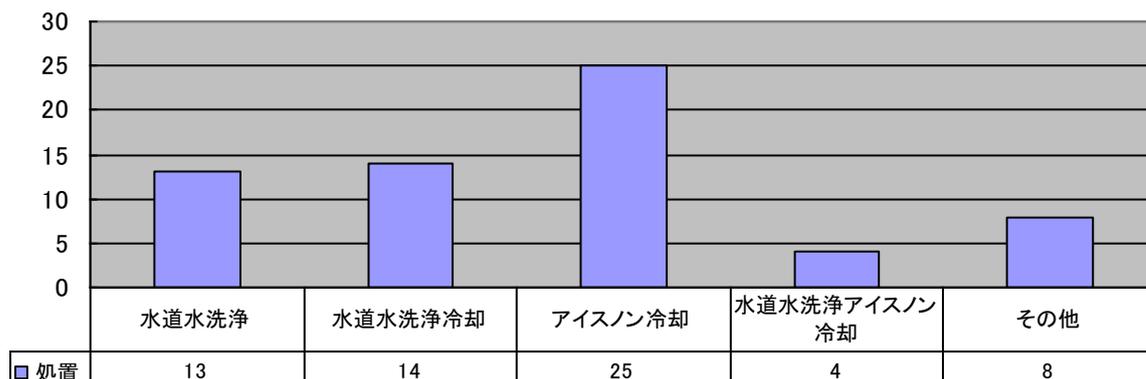
⑤時間帯別発生件数



⑥事故発生内容



⑦処置内容



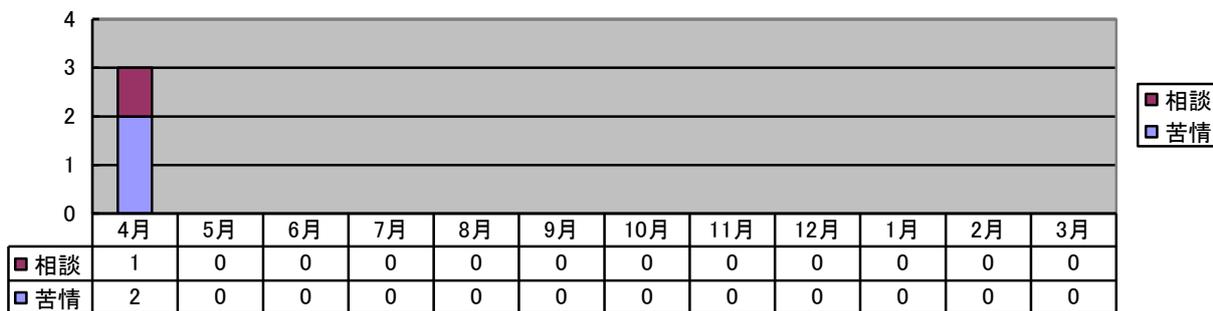
⑧まとめ

自分の思いを通そうとし押ししたり、噛みつきが多く出ていた。ヒヤリハットの件数が少なかったのでも些細なことでも情報を共有し、職員全体が把握して危険なことを減らしていくように心がけていきたい。自由遊びの時間帯が多くあげられているので、一人一人の子どもの様子を見て、保育者同士の声かけも多く持てるよう気をつけていきたい。

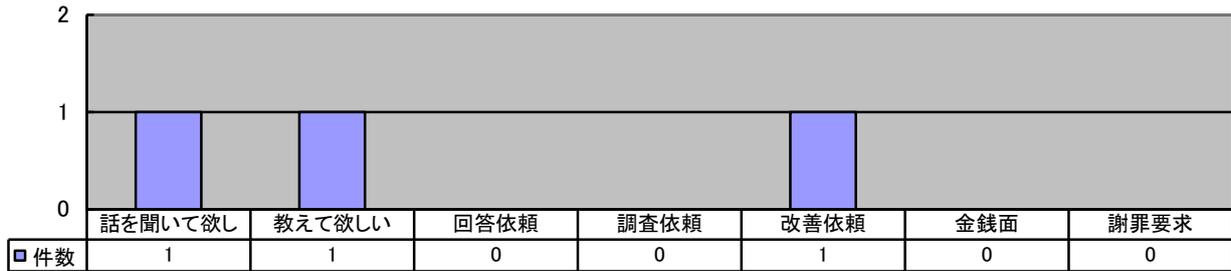
9. << 苦情・相談結果報告 >>

苦情の定義→施設長が直接対応した件を苦情とする。

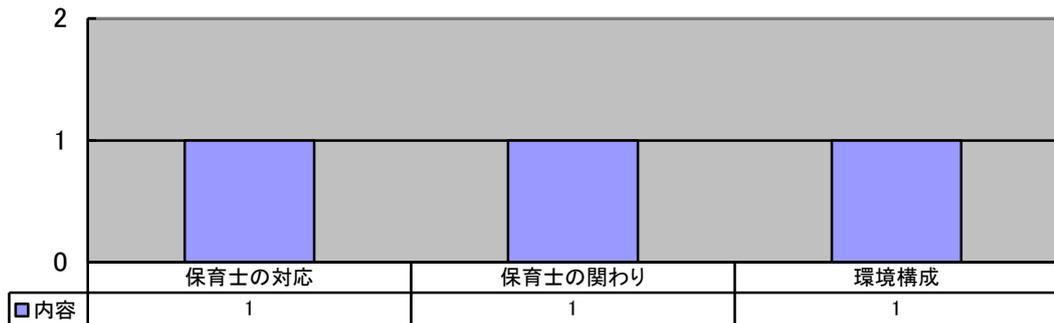
○報告件数・・・3件



要望分類



主な内容



○まとめ

- ・ 苦情は、子どもがこけて目の上に怪我をし、病院へ連れて行ったケースで、保護者よりしっかりと見て欲しいと言われた。
- ・ 個人用のかごの中に入れていた着替えで帰ったら、袖がはさみで切られた跡があり、何故かと聞かれた。しかし、園では、子どもは、はさみをまだ使っていないこと、保育者も一定の場所でしか使わないことを伝えた。保護者も触ることは、考えられないと伝えた。今後、個人用のかごの前で、怪しい行動がないよう様子を見ていくことを周知した。
- ・ 4月子どもが、大きな声で泣くことがあった。ビルの1階で他の事務の方に迷惑をかけた。裏口に防音パネルを貼って欲しいと言われ、ビルの負担でしていただいた。

10. <<総括>>

4月から初めての小規模ということで、不安もあったが、保護者の理解・協力を得て子ども達も笑顔で登園し園生活を楽んでいる様子がうかがえた。ワンルームで0, 1, 2歳の合同で子ども達は、刺激を受けできることが多くなり、思いやりもみられている。また、保護者の方も他の子ども達に優しく接していただいている。年度末のアンケートでは、ほとんどの方が、保育士の対応に好感をもたれ、感謝の言葉が多く、安心していただいていることを実感した。第1子の子どものが多く、子育てで不安になり相談される方がいた。しかし、中には、相談しにくく、悩んでおられる方もおられ、保護者に寄り添い話をしやすい環境をつくり、共に子育てをしていきたい。